

編集後記

前回本誌の編集後記を担当させていただいた今年6月、「ようやくコロナの第6波も落ち着き、これで長かったコロナ禍も収束の方向に進むことを期待」と書かせていただいております。しかし実際には翌7月にオミクロン株が急激に感染拡大し、あっという間に過去最高の感染者数となりました。第7波は現在落ち着きつつありますが油断は禁物。冬のインフルエンザとのダブル流行に備え、注意しながら臨床医療と学術活動に励みたいと思います。

今年2月に始まったウクライナの戦闘も終わる兆しがありません。ニュースは戦地の悲惨な状況を毎日伝え、ロシア政府は約30万人の予備役動員を表明したようです。当初、今年の年末くらいには戦闘中止とも予測されていましたが、こちらもまだまだ続く気配です。戦地から少し離れた日本におりますと、エネルギー問題や物価の高騰はあるもののウクライナ情勢をあまり肌で感じる事が少ない状況ですが、最近ウクライナ情勢の影響で脊椎内視鏡手術で使用する機器付属品が日本に入らず、内視鏡手術ができない問題が日本脊椎脊髓病学会委員会で報告されました。日々の医療業務にも影響が出始めていることを実感し、一日も早い戦闘終結を望みます。

さて、このウクライナでの戦闘勃発は今年2月、北京での冬季オリンピック終了直後でありました。その半年前の昨年夏には東京2020のオリンピックがコロナ禍のなか開催され、無観客で大きな制約のもとでは

ありましたが、数多くの感動をいただきました。整形外科として当科も競泳のトビウオジャパンなど複数のチームをサポートし、競泳日本代表の大橋悠依さんが2つの金メダルを獲得したときには大きな感動をいただきました。

今号の特集は「女性アスリートのサポートを考える」で、能瀬さやか先生ご立案のもと、素晴らしい内容が掲載されています。女性アスリートのパフォーマンス向上のための食事制限による軽量化戦略は骨粗鬆症や摂食障害などの健康被害を惹起するリスクがあり、男性より女性アスリートに多くみられる膝前十字靭帯損傷、大腿四頭筋の肉ばなれ、疲労骨折を認識しつつ、女性アスリートに特化した予防トレーニングが必要です。また整形外科医だけでなく産婦人科医や内科医、小児科医、精神科医、栄養士の専門的な立場から、月経や鉄欠乏性貧血、成長期の健康問題、メンタルケア、栄養指導など、様々な視点で多面的なサポート内容が解説されています。リハビリテーションやトレーニングの分野では、妊娠・出産後も含め女性アスリートに特化した運動指導の内容も紹介されています。整形外科医はアスリートの診察や治療を行う機会が多々あります。今後一層活躍が期待される「女性アスリート」に対しても、整形外科医が自身の専門以外の豊富な知識を習得し、きめ細かい多面的なサポートが求められています。

(今釜史郎)

「整形・災害外科」第65巻 第12号 (11月号) 2022年11月1日発行 (毎月1回1日発行) 定価 2,860 円 (本体 2,600 円 + 税 10%) 年間購読料金 定価 44,660 円 (本体 40,600 円 + 税 10%) 〔年間13冊 (臨時増刊号、増大号を含む) の誌代〕 〔年間予約購読者に限り送料無料〕	発行所 金原出版株式会社 発行者 福村直樹 〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-14 TEL 03 (3811) 7165 [編集室直通] TEL 03 (3811) 7184 [営業部直通] FAX 03 (3813) 0288 www.kanehara-shuppan.co.jp 振替口座 00130-1-191269 印刷所 三報社印刷株式会社 広告申込先 日本医学広告社 TEL 03 (5226) 2791
---	--

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権 (送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構 (電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。